

早大日女大×千葉大 SC 合同交流会（終了報告）

チャプター名	早大日女大スチューデントチャプター
開催日時	2025 年 6 月 29 日 10 : 00～15:30
場所	早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館ロームスクエア 1 階カフェテリア
参加者	52 名（内応用物理会員 30 名）

● 開催目的

関東圏の学生（早大日女大、千葉大、東洋大電機大）を対象に、大学の枠を超えた交流の機会の場を設け、より多くの人脈を広げられるような環境を作り出す。

● 開催内容

- ・各 SC の代表者計 8 名による口頭発表
- ・22 名によるポスター発表

● 開催結果

口頭発表 8 件、ポスター発表 22 件は無事終了した。また、いずれの発表でも、大学の枠を超えた、積極的な交流が成されており、開催目的は達成されたと言える。また、各 SC の代表者と話し合い、来年度以降も同様の形式で交流会を開催し、今後もより交流を深めていく方向で一致した。



早大日女大×千葉大 SC 合同交流会（終了報告）

チャプター名	千葉大学 SC
開催日時	2025 年 6 月 29 日 10:00～16:00
場所	早稲田大学西早稲田キャンパスロームスクエア
参加者	52 名（内応用物理会員 30 名）

開催目的

本交流会は、応用物理学会スチューデントチャプター（SC）の活動の一環として、関東圏における大学間の学生交流の新たな機会を創出することを目的として開催した。早大・日女大 SC と千葉大学 SC が共同で企画・運営を担い、研究発表や議論を通じて学生同士が分野や立場を超えて知見を共有し、相互理解を深める場とした。加えて、本会を契機としたネットワーク形成も意図している。

開催内容

- 10:00～10:15 開会の挨拶
- 10:15～10:30 口頭発表（早稲田大学 内藤真慈）
- 10:30～10:40 口頭発表（早稲田大学 西村祐亮）
- 10:40～10:50 休憩
- 10:50～11:05 口頭発表（東洋大学 神田哲志）
- 11:05～11:20 口頭発表（東洋大学 栗津原奨太）
- 11:20～11:25 休憩
- 11:25～11:40 口頭発表（千葉大学 米田悠人）
- 11:40～11:55 口頭発表（千葉大学 伊東莉那）
- 11:55～12:00 休憩
- 12:00～12:15 口頭発表（東京電機大学 宇澤拳太郎）
- 12:15～12:30 口頭発表（東京電機大学 須藤丞）
- 12:30～13:30 昼休憩
- 13:30～15:30 ポスターセッション
- 15:30～15:45 閉会の挨拶

開催結果

本交流会は、関東圏におけるスチューデントチャプター（SC）間での継続的な研究交流を実現する枠組みの第一歩として開催された。より多くの学生が気軽に参加できるよう、参加費を徴収せず、遠方からの参加者には交通費を支給する形式を採用した。この運営方針により、関東圏の 9 大学、16 研究室から合計 52 名の学生が参加した。

午前中には、早大・日女大 SC と千葉大学 SC に加え、新たに設立された東洋大・東京電機大 SC から登壇者を迎え、計 8 件の口頭発表が行われた。発表内容は、機械学習を用いた材料設計、半導体界面の物性、テラヘルツ光の応用、エネルギーデバイス開発な

ど多岐にわたった。各発表者の所属研究室と自身の研究について発表を行い、所属や分野を問わず多くの質疑が寄せられ、学生同士による活発かつ率直な議論が展開された。

午後のポスターセッションでは、22件の発表が行われた。自由討論形式で進行し、参加者は関心に応じて各ブースを巡り、発表者と直接意見を交わした。ポスターのテーマは、量子情報、テラヘルツ波技術、光周波数コム、光通信、バイオセンシング、医用画像処理、流体力学、材料評価など多岐にわたり、発表中は多くの参加者が積極的に質問を投げかける様子が見られた。また、会場には軽食・飲料が用意され、リラックスした雰囲気の中で研究以外の交流も進められた。

交流会終了後には、参加者を対象にアンケートを実施し、次回開催に向けた改善点の把握を行った。特に、ポスターセッションに関しては、発表件数に対して議論の時間がやや不足していたという意見が多く、2部制の導入や発表時間の延長といった形式面での見直しが求められた。また、口頭発表のセッション構成や休憩のタイミングに関しても、より柔軟な運営が望まれていることが明らかとなった。

今回の交流会は、学生が主体となって企画・運営したにもかかわらず、内容・規模ともに高い水準を実現することができた。関東圏におけるSC間の連携を強化するうえで、意義深い試みとなったと評価できる。今後もこうした学生主導の研究交流の場を継続的に設けることで、分野横断的な視点を育てるとともに、若手研究者間のネットワーク形成と学術的發展をさらに促進していく所存である。



早大日女大×千葉大 SC 合同交流会（終了報告）

チャプター名	東洋大・東京電機大 SC
開催日時	2025 年 6 月 29 日 10:00～15:30
場所	早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館ロームスクエア 1 階カフェテリア
参加者	52 名（内応用物理会員 30 名）

開催目的

大学・研究分野・研究室といった垣根をこえて、学生間の交流を行うことを目的として交流会を開催した。

開催内容

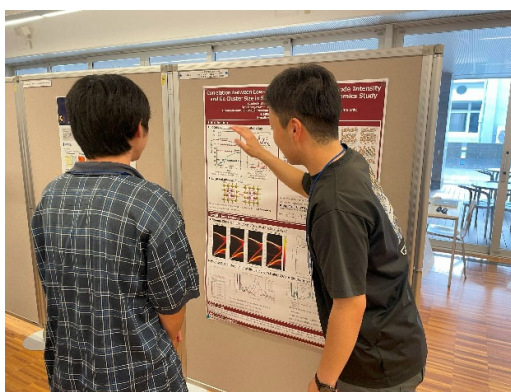
- ・早稲田大、東洋大、千葉大、東京電機大の各研究室から、合計 8 名の口頭発表
- ・22 名によるポスター発表

開催結果

本交流会は、早大・日女大 SC と千葉大学 SC が主体で運営を行い、東洋大・東京電機大 SC は、主に発表者や聴講者として本交流会へ参加した。

学生間の交流が本交流会の目的のため、口頭発表においてはそれぞれの研究室と研究内容の紹介を中心に発表を行った。応用物理という広い枠組みの中で、多様な分野の研究について発表が行われた。学生のための交流会であったため、専門外であっても気軽に質問できる雰囲気であり、活発な議論を交わすことができた。ポスター発表においては 2 時間の枠を用意しており、学会のポスター発表と比べても長時間であるにもかかわらず、参加者全員が積極的に参加することで、活発な議論や意見交換が行われていた。

本交流会を通じて、普段関わることのない研究領域やその学生と交流を実現することができ、非常に有意義な時間となった。



ポスター発表の様子



集合写真